つ　ば　さ

－　令和７年６月１０日　－
第５号 文責　校長　渡辺　景輔

唐津市立北波多中学校
〒847-1201 唐津市北波多徳須恵 303
TEL　0955-64-2009

【学校教育目標】

「自他を大切にし　互いを認め合い　共に高め合う生徒の育成」

◇「唐津市教育の日」ご参観ありがとうございました！◇

６月８日（日）は、「唐津市教育の日」で、市内全小中学校で授業公開がありました。本校においても、延べ６０名程の保護者・地域の方々に参観していただきました。大変ありがとうございました。子どもたちの様子は、いかがだったでしょうか。家庭でも学校の様子を話していただけると、子どもたちもさらに成長できることと思います。

１時間目　各学級「道徳」の授業公開を行いました。どの学年も、グループ学習を取り入れた授業となっていました。道徳教育が教科化となり、いじめ問題や急速な情報化における環境の変化等を理由として、子どもたちの人格の基盤となる道徳性を養う学習が広く求められています。本校においても、より一層子どもたちの豊かな心を育むため、道徳科の授業の充実に努めてまいります。

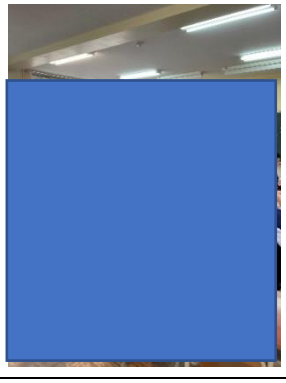
☆☆☆　道徳の公開授業　☆☆☆

～１年生～

題材：SEKAI NO OWARI「サザンカ」

平昌オリンピックの公式テーマソングである SEKAI NO OWARI の「サザンカ」という歌を通して、夢や目標を持ち、周りへの感謝を大切にしながら、困難に負けず挑戦し続けようとする道徳的心情を育てることをねらいとする。

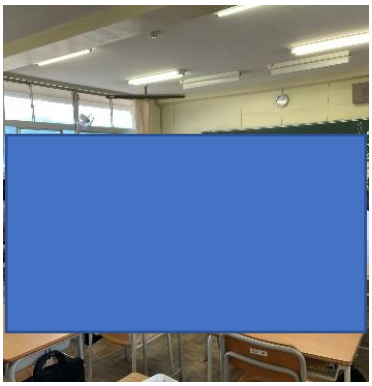
～２年生～



題材：おかげさマップ～「ありがとう」でつながる～

身のまわりの出来事や人との関わりの中にある「おかげさま」や「ありがとう」に目を向け、日常にある支えや親切に気づく力を育てることで、感謝の心や思いやりの心を養うことをねらいとする。

～３年生～



題材：『食べ物、どう解く？』『(絵本) どう解く？』より

「食べていい動物と食べてはいけない動物の違いって何だろう？」というテーマについて考えたり、班での意見交換を行った。自分たちの考えだけでなく、他の国や文化の違いにも触れ、考えを深めることをねらいとする。

令和7年度　北波多中学校生徒会スローガン
導　～　自らが前に立ち周りの見本となり正しく導く　～

３・４時間目　生徒総会を実施したところ、たくさんの保護者の方々にも見ていただき、大変ありがとうございました。生徒会役員を中心として、自治的な活動を行い、全校生徒がよりよい学校生活が送れるよう様々な提案をしてくれました。また、例年たくさんの学校への要望が出されていますので、できる限り要望を前向きに受け入れるようにしています。しかしながら、子どもたちの安全面や家庭の経済的負担、学校予算の面等で実現が難しいことなどもあります。

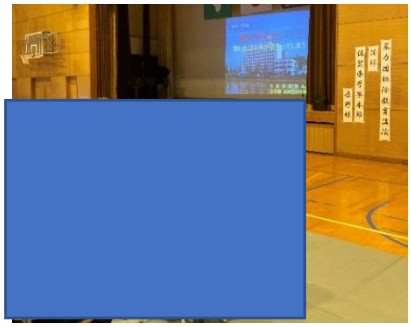
【北中人権宣言】

第一条　私たちは、相手の意見を尊重し、互いに認め合える行動や発言をします。

第二条　私たちは、互いの笑顔を大切にし、一人ひとりが自分らしくいられる場をつくります。

第三条　私たちは、正直な心を持ち、偏見や差別をなくし、共に助け合える北中生になります。

５時間目　暴力団排除教育は、３年に１回、県の事業として実施される青少年育成の講演会です。今回は、佐賀県警察本部より講師として来ていただき、反社会的な組織と関わらないようにすることから、闇バイトまで幅広く話をしていただきました。



最後に生徒を代表して、３年生の　　さんが「暴力団は意外と身近に存在していて、普段の生活から関わらないよう注意します」と述べてくれました。

放課後　PTA 除草作業は、天候不順の中、多くの保護者・生徒の参加がありました。大変ありがとうございました。